



2021年12月24日

各 位

会社名：古河電気工業株式会社
(コード：5801 東証第1部)
代表者名：代表取締役社長 小林 敬一
問い合わせ先：執行役員 IR部長 増田 真美
(TEL 03-6281-8540)

**建設・電販市場向け汎用電線の昭和電線ホールディングス株式会社との
共同販売会社であるS F C C株式会社への
製造事業統合および出資比率変更に関するお知らせ**

当社は、添付のとおり昭和電線ホールディングス株式会社（以下「昭和電線HD」）との建設・電販市場向け汎用電線の共同販売会社であるS F C C株式会社の販売事業に、当社グループおよび昭和電線HDグループの製造事業を統合すること、および両社のS F C C株式会社に対する出資比率を変更することについて昭和電線HDと合意いたしましたのでお知らせいたします。

本製造事業統合および出資比率変更による、2022年3月期の当社業績に与える重要な影響はございません。

添付：建設・電販市場向け汎用電線の共同販売会社であるS F C C株式会社
への製造事業統合および出資比率変更に関するお知らせ

以 上

2021年12月24日

各 位

昭和電線ホールディングス株式会社
(コード番号 5805)
古河電気工業株式会社
(コード番号 5801)

建設・電販市場向け汎用電線の共同販売会社であるS F C C株式会社
への製造事業統合および出資比率変更に関するお知らせ

昭和電線ホールディングス株式会社(代表取締役社長 長谷川隆代、以下「昭和電線HD」)と古河電気工業株式会社(代表取締役社長 小林敬一、以下「古河電工」)は、2020年4月1日付けで建設・電販市場向け汎用電線の共同販売会社であるS F C C株式会社(以下「S F C C」)の営業を開始いたしました。このたびS F C Cの販売事業に両社グループの製造事業を統合すること、および両社の出資比率を変更することについて合意いたしましたのでお知らせいたします。なお、本件に係る公正取引委員会の審査は適正に終了しており、今後はその他手続き等を進めながら2022年7月1日の統合を目指してまいります。

1. 製造事業統合の背景と目的

国内の建設・電販市場については、中長期的には首都圏以外での構造的な需要縮小と人口減少に伴う新設住宅着工戸数の減少が見込まれる中で、昭和電線HDと古河電工は、同市場向け汎用電線での業務提携を図るべく、2020年4月1日付けで共同販売会社であるS F C Cの営業を開始いたしました。設立後は、S F C Cの販売業務の効率化を進め、在庫の一括集中管理を実施するとともに、デリバリーや品揃えの充実を図る等、より高いレベルでのお客様サービスの向上に努めてまいりました。この効果を一層高めていくこと、さらには事業環境も新型コロナウイルス感染症の拡大や原材料・物流価格の一段の高騰などにより変化が促進される中で、両社はS F C Cにおいて販売事業と製造事業を一貫して効率的に営むことで統合効果を高め、勝ち残っていく必要があると考え、今回の合意に至りました。

2. 製造事業統合の概要

昭和電線HDの100%子会社である昭和電線ケーブルシステム株式会社(代表取締役社長 川瀬幸雄、以下「昭和電線CS」)および古河電工の100%子会社である古河電工産業電線株式会社(代表取締役社長 白坂有生、以下「FEIC」)の2社が取り扱う建設・電販市場向け汎用電線に関する製造事業の内、S F C Cが現在「SWCC・FURUKAWA」ブランドで販売している製品(具体的にはIV、CV(6.6kV以下)、CVV、VVF、VVRとこれらの環境配慮型電線が含まれます。)に関する製造事業をS F C Cに譲渡することで統合いたします。なお、アルミ導体製品については、引き続きFEICで製造してまいります。

また、製造事業統合後のS F C Cの製造拠点は、昭和電線CSの三重事業所および茨城工場の二拠点に集約し、これに伴いFEICの栃木工場は製造事業統合と合わせて操業を停止する予定です。

3. 出資比率の変更

S F C Cは、製造事業統合と合わせて、両社グループからの事業譲渡の対価に相当する第三者割当増資を行い、これを昭和電線HDおよび古河電工がそれぞれ引き受けます。その結果、両社の出資比率は現在の、昭和電線HD60% 古河電工40%から昭和電線HD80% 古河電工20%に変更される予定です。

4. 今後の予定

昭和電線C SおよびF E I Cからの製造事業譲渡、およびS F C Cの第三者割当増資による出資比率の変更については、いずれも2022年7月1日付けの効力発生を予定しております。

5. S F C Cの概要 (2021年12月24日現在)

(1) 商号	S F C C株式会社
(2) 略号	S F C C (Showa Furukawa Cable Co., Ltd.)
(3) ブランド名	SWCC・FURUKAWA
(4) 本社所在地	神奈川県川崎市川崎区日進町1-14
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 黒須 光明
(6) 事業内容	建設・電販市場向け各種電線・ケーブルおよびその付属品、関連資材類の販売 ※2022年7月1日以降の事業内容には、上記製品の製造(アルミ導体製品を除く)についても含まれる予定です。
(7) 資本金	4億90百万円 ※2022年7月1日以降の資本金は、未定です。
(8) 営業開始日	2020年4月1日
(9) 決算期	3月
(10) 出資比率	昭和電線HD 60% 古河電工40% ※2022年7月1日以降の出資比率は、昭和電線HD 80% 古河電工20%となる予定です。
(11) 事業拠点	本社(川崎)、関西支店、中部支店、東北支店、九州支店 ※2022年7月1日以降の事業拠点には、上記営業拠点のほか、製造拠点として三重工場、茨城工場が含まれる予定です。
(12) 売上高 (2021年3月期)	395億40百万円

6. S F C Cの業績に及ぼす影響

本件製造事業統合が、S F C Cの2022年3月期の業績に及ぼす重要な影響はございません。

本件に関するお問合せ先

昭和電線ホールディングス株式会社 経営戦略企画部戦略課 IR・広報グループ
TEL 044-223-0520

古河電気工業株式会社 財務・グローバルマネジメント本部 IR部
TEL 03-6281-8540

以 上